

令和元年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催

令和元年11月19日（火）に北海道檜山振興局檜山合同庁舎4階講堂で令和元年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催しました。この会議は、檜山管内の関係機関を対象に地域の将来構想づくりを支援するため、農業農村整備の推進に係る情報提供や地域が保有している情報の共有、意見交換、地域の中長期計画の見直しを検討する場として毎年開催しています。

本会議には、北海道開発局函館開発建設部、函館農業事務所、管内の各町、各土地改良区、各JA、檜山振興局農務課、檜山農業改良普及センター、檜山農業改良普及センター檜山北部支所、農村振興課から48名が出席しました。

坪井産業振興部長の挨拶後、岸田農村振興課長から農業農村整備事業を巡る情勢について説明。檜山農業改良普及センター北部支所からは基盤整備の必要性（檜山農業維持のため）、農務課より檜山農業の担い手の現状と取組、函館開発建設部からは国営農地再編整備事業（道央・道東の実施状況）等などの情報提供や情報共有を行いました。

今回はご多忙なところ檜山管内と同じく日本海に面した、増毛町農林水産課農業基盤整備室次長 佐伯義晃氏、増毛町土地改良事業推進期成会 顧問 中舘寛氏をお招きして「増毛町の農業農村整備事業の取組について」増毛町の事業実施地区の立上げから今までの取組みについて貴重なお話をしていただきました。

また、20日の研修会は江差町内の「まなびっく」に会場を移して、檜山管内の各町、各土地改良区、JA、農村振興課から27名出席し、事業推進体制強化に向けた取組の一つとして、団体営事業事務手続き、農地耕作条件改善事業等、農業農村整備事業の制度等、道営土地改良財産の適正な維持管理等、災害関係に関する情報提供等、研修会を開催しました。

檜山振興局は、今後も積極的に情報収集・情報提供・各取組事例紹介などの支援を各関係機関と連携して進めていきます。



冒頭で坪井部長があいさつ



各関係機関の参加状況